

市問政を!

一般質問

◎一般質問とは、議員が市政全般について市長など執行機関の考えをただし、報告や説明を求めることです。
 ◎ここに掲載したのは要約で、会議録に基づき議員本人が編集したものです。
 ◎詳細は会議録(今回の会議録は、6月頃からホームページ、図書館、各コミセンにて公開)またはインターネット議会中継をご参照ください。

氏名	質問の要旨
遠藤 博昭	1 学校教育の現状について
西田 学	1 人口減対策について
内藤 栄治	1 新型コロナウイルスへの大川市の対応について 2 大川の木工産業について
平木 一朗	1 国際医療福祉大学周辺のまちづくりについて 2 河川の浚渫について 3 上水道の基幹管路の耐震化状況について
永島 幸夫	1 新中学校舎について 2 大川市斎場について
永島 守	1 政治と行政について「行政への提言」
宮崎 稔子	1 障害者総合支援法に基づく意思疎通支援について 2 死亡に伴う手続きの支援について



学校教育の現状について
遠藤 博昭 議員

問 学力の向上と体力の増進に関してどのように対処しているのか。

答 学力の向上については、小中学校の教職員が合同研修会や授業交流会を行うことで、指導方法の一貫性が図られるようになりました。体力については、小中学校区ごとに、それぞれの体力の課題があると捉え、改善に向けた取組を推進しています。小中学校が連携した1校1取組運動として、学校ごとに体力の課題に応じたキャッチフレーズを設定し、児童・生徒の体力の向上を図っています。

問 教職員の職場における教育環境と労働時間の現状を伺いたい。

答 勤務時間を客観的に把握、集計できるようにICカード型のタイムレコーダーを購入し、学校に設置する準備を進めています。学校現場の状況把握については、定期的な学校訪問、校長会、校長ヒ

問 多忙な学校現場に、市費を使って学校教職員の補充をしていただけないか。

答 学校現場の大変さは重々承知しています。教職員から直接話を聞く機会をつくり、いろいろと工夫しながら、子どもたちにとって対応できるように、現場の負担軽減にも努めてまいります。

問 新型コロナウイルス感染拡大防止のための休校で生じる3学期のカリキュラム未履修分の対応は。

答 例えば、夏休み等の長期休業を利用したり、小学6年生は中学1年生、中学2年生は3年生など、次の学年に付け加えながら補う必要はあると考えています。



人口減対策について
西田 学 議員

問 大川市の人口の自然増減と社会増減、その合計は何人か。

答 直近10年間では、年平均246人の自然減、年平均225人の社会減で合計すると毎年平均470人程度の人口減となっています。

問 婚活のプロである民間と安心感のある市役所が組んでインターネットを使った婚活プロジェクトを作れないか。

答 インターネット上で個人情報を取り扱うようなものになると思いますが、安全に運用できるのか、また、他自治体の先進的な取り組みが行われているかなど、今後研究をしていきたいと思えます。

問 保育料の無償化で市の財政負担はどのくらい減るのか。また、保育園・認定こども園の副食費と小中学校の給食費は年間幾らか。

答 無償化により、1年間で約7千200万円軽減される見込みで

す。園の副食費は、年間2千400万円程度で、小中学校の給食費は、平成30年度の概算で合わせて8千300万円強です。

要望 軽減される財源等を使って副食費や給食費の無償化を実現してほしい。

問 本市の奨学金制度を使って大川樟風高校を応援できないか。

答 平成25年度に奨学会の事務局と大川樟風高校で数回協議を行いました。具体的にはならず、現在に至っている経緯があります。

問 本市の人口は2030年を待たずに3万人を割る勢いである。市町との合併に向けての交流は。

答 今後減り続けていった時、行政として、住民サービスをきちんと提供できるか危機感を持っています。合併は念頭に置いていますが、近隣市町とは良好な関係を築いていきたいと思っています。



新型コロナウイルスへの大川市の対応について
内藤 栄治 議員

問 今、ニュースといえば新型コロナウイルスだが、大川市の対応について伺いたい。

答 平成26年に策定した「大川市新型コロナウイルス等対策行動計画」を基に対応しています。具体的には、市のホームページや市報で、手洗いや咳エチケットなどの感染症対策を行っていただくよう呼びかけるとともに、保育施設や学校、コミセン、市立図書館、中央公民館などの施設や医療機関などに対し、注意喚起のチラシ等を配布し啓発を行ってきました。

2月21日に大川市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、感染拡大防止のため、市主催のイベント等の中止や延期をする場合の判断基準等について協議を行い、27日の第2回対策本部会議で市主催のイベント等について3月15日まで原則中止または延期を決定し、

地域のイベント等も中止、延期、縮小等の協力をお願いしました。

2月28日に市内の小中学校を3月2日から一斉に臨時休校することを決定し、また、市役所1階窓口では、担当職員のマスク着用とアルコール消毒等の対策を行っており、今後も県や関係機関と連携して日々変化する状況を把握し、しっかりと対応してまいります。

問 家具のまち大川が全国に認知される事業として、昭和62年から34回開催された全国高等学校インテリア展、別名デザイン甲子園が、令和元年度34回で休止する理由は。

答 インテリア振興センター自体の赤字が出ているので、赤字解消をして経営体制を立て直すため、事業内容を見直し、その中で34回と長く続いた事業ですが、デザイン甲子園については理事会で休止する判断をされたということです。